

(科目コード : 2000820005MM)

【改訂】第31版(2013-03-11)

【科目】法学

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】前期・1単位

【対象学科・専攻】機械 5年

【担当教員】生形 健司

【授業目標】

- ・「法学」が、社会の中でどのような位置付けや役目を担っているのか、また、社会生活における法との関わりを理解することができる。
- ・自分で「六法」が読めるようになるとともに使うことができる。
- ・法の基本や法的なものの考え方を理解することができる。
- ・裁判の傍聴やグループ討議を行うことにより、どのように法が実際に関係するかを学び、社会の一員となる素養を身につけることができる。

【教育方針・授業概要】

- ・本科目の総授業時間数22.5時間である
- ・「法学」の学習の意義、法の概念、法源を考察する。
- ・「六法」を使い、「六法」の読み方、立法技術・法令用語を学習する。
- ・法の種類、法の効力、法の適用及び法の解釈について、具体的事例を交えて学習する。
- ・演習により、実例を取り上げ、法について考察する。

【教科書・教材・参考書等】

- 教科書：『コンパクト六法』：奥田昌道他著：岩波書店
参考書：『現代法学入門(第4版)』：伊藤正己・加藤一郎著：有斐閣双書
参考書：『法学提要』：杉山茂雄・杉本啓一郎著：青林書店

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

- 講義とグループ討議(演習)
裁判所の傍聴を課す(宿題)

【メッセージ】

社会生活における法のかかわりに関心を持ち、問題意識を持って講義に望んで欲しい。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%、期末試験：40%、講義中の討論：5%、裁判傍聴およびそのレポート：15%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	法学に関する概念、法の適用を理解でき、法的解釈能力を身につける。	100 %	通常の評価方法をする。

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(法学)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1回	法学ガイダンス	「法学」の授業概要、学習の仕方、意義		
2回	六法の読み方	「六法」のひき方、立法技術、法学の全体概要		
3回	法令用語	法令用語の説明		
4回	座標軸	現在の世界、日本及び法と裁判の状況		
5回	法の概念	法の定義、規範、慣習、宗教、道徳		
6回	法源	成文法、不文法、慣習法、判例、条理等		
7回	日本国憲法	日本国憲法の基本原理と基本構造		
8回	中間試験			
9回	法の適用・法の解釈	法の適用・法の解釈について		
10回	学理解釈	文理解釈、論理解釈について		
11回	紛争の解決	ある紛争の解決と法の関係についてグループ討議と発表		
12回	実体法と手続法	法の種類、実体法と手続法について		
13回	普通法と特別法	裁判所や裁判の傍聴及び傍聴内容の発表、普通法と特別法		
14回	法の効力、民法概論	民法の大原則等民法概要、法の効力について		
15回	刑法・行政法概論	罪刑法定主義等刑法概要、行政法概要について		